

第206回 教育研究評議会 議事録

日 時：令和4年2月10日（木）
13時30分～14時00分
場 所：事務局第1会議室（本部棟3階）
（オンライン併用）

出席者

学長（議長）	梅原
理 事	高木、三宅、谷地、蛭名、岡田
副学長	椛島、佐土原、泉、関崎
教育学部	木村、梅澤（秋）、白取
経済学部	佐藤、奥村
経営学部	真鍋、大森
理工学部	眞田
都市科学部	藤掛、小池
国際社会科学研究院	中村、永井、西川
工学研究院	梅澤（修）、窪田、丸尾
環境情報研究院	四方、菊池、山田
都市イノベーション研究院	勝地、大野、須川
先進実践学環	根上、河潟
教養教育主事	関谷
附属図書館長	大原

議 事

I 議事録確認

第205回教育研究評議会議事録（案）（資料1）について、原案のとおり確認した。

II 報告事項

1. 議長報告

議長から、資料2に基づき、次の事項について報告があった。

- (1) 1/14 メドトロニックイノベーションセンター 視察
- (2) 1/14 横浜ビジネスパーク（株式会社オキサイド） 視察
- (3) 1/17 神奈川 GIGA スクールコンソーシアム設置準備委員会 挨拶
- (4) 1/18 神奈川県ユニセフ協会 来訪
- (5) 1/18 大学経営協会新春講演会 出席（オンライン）
- (6) 1/18 お茶の水女子大学 来訪
- (7) 1/20 国立大学協会 入試委員会 出席（オンライン）
- (8) 1/24 横浜市 訪問
- (9) 1/27 カザフスタン大使館 来訪
- (10) 1/28 国立大学協会 総会 出席（オンライン）

- (11) 2/2 校友会感謝状贈呈式 举行
- (12) 2/8 国立大学協会 関東・甲信越地区支部会議（オンライン）
- (13) 次期部局長等の指名
 - ・先進実践学環長 河潟 俊吾 教授
 - ・附属図書館長 大原 一興 教授

2. 委員会報告

議長から、委員会の開催状況について、資料2-1のとおり報告があった。

3. 理事、副学長、部局等報告

理事、副学長、部局等から、次の事項について報告があった。

(1) 理事（総務・評価・広報・施設担当）・副学長

- ・本学関係者の新型コロナウイルス感染の状況について、2月に入っても多くの感染報告があり、引き続き感染防止策を徹底していただきたい旨の要請があった。
- ・令和3年度卒業式・修了式及び令和4年度入学式について、学生のみ対面で行い保護者向けには後日動画を公開する方針である旨の報告があり、併せて新型コロナウイルスの状況によっては計画の変更もあり得る旨の説明があった。

(2) 理事（教育・情報担当）・副学長

- ・令和4年度大学入学共通テスト実施に伴う各部局の協力に対して謝辞があった。
- ・資料3-1に基づき、令和4年度一般選抜の出願状況について報告があった。

(3) その他

- ・理事（総務・評価・広報・施設担当）から、今年度受審した大学機関別認証評価と教職大学院認証評価について、それぞれ評価結果案が提示された旨の報告があり、評価結果の概要について説明があった。併せて、最終的な評価結果は3月に確定する予定であり、確定次第改めて報告する旨の報告があった。

III 人事事項報告

議長から、資料4に基づき、人事事項について報告があった。

IV 審議事項

1. 寄附講座（寄附研究部門）の更新（延長）について

理事（研究・財務担当）から、資料5に基づき、寄附研究講座（パワーエレクトロニクス寄附研究部門）の期間を延長する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2. 指定共同研究講座の変更について

理事（研究・財務担当）から、資料6に基づき、共同研究講座（インテリジェント医療・介護サービス共同研究講座）の期間を延長する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3. 令和4年度副専攻プログラムの開設について

理事（教育・情報担当）から、資料7に基づき、副専攻プログラム（MAB/SDGs 副専攻プログラム）の設置申請があった旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 令和4年度学修証明プログラムの開設について

理事（教育・情報担当）から、資料8に基づき、学修証明プログラム（法律系社会人リカレントプログラム）の設置申請があった旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5. 令和5年度大学院入学者選抜方法の変更について

理事（教育・情報担当）から、資料9に基づき、令和5年度以降の大学院国際社会科学府の入試方法の変更について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6. 横浜国立大学公開講座規則の一部を改正する規則等について

副学長（地域担当）から、資料10-1～資料10-2に基づき、横浜国立大学公開講座規則の一部を改正する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7. 大学間学術交流協定の締結について

副学長（国際担当）から、資料11及び資料11-1に基づき、大学間学術交流協定の締結を行う旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。